

全国地理教育学会 第14回 地理教育基礎巡検 実施要項

テーマ：河岸段丘地形と人間社会との関係を観察・理解するための地理教育基礎巡検
—山梨県上野原市の河岸段丘地域をフィールドとして—

主旨：地理学習の重要なテーマである「自然環境と人間生活」の関わりを考察する。自然環境を構成する地形のなかでも、その代表例として河岸段丘地形は中学・高校の教科書で必ず取り上げられている。しかし、河岸段丘の特徴及び河岸段丘と人間生活との関連性は、必ずしも十分に理解されているとはいえない。また、中学・高校の地理担当者の中にも地形などの自然地理分野の指導を苦手とする教員も多いといわれる。そこで、実際に河岸段丘地形を体験・観察し、段丘地形や地域の理解を深め、地理プロパーでない先生方も授業に役立てることができることを目途に地理教育基礎巡検を実施する。なお、上野原地域の選定は、典型的な河岸段丘地形が形成されていることや日帰り巡検とするための交通条件等を考慮した。

日程：2015年10月4日（日）10時00分～16時00分（少雨決行）

集合・解散：JR中央本線上野原駅改札口 10時00分集合 同16時00分散
（高尾駅9時29分の甲府行（高尾駅始発）の普通列車に乗車すると、9時47分に上野原駅に到着します。また、甲府駅8時32分発（大月駅9時26分発）の立川行（松本駅始発）の普通列車に乗車すると、9時45分に上野原駅に到着します。）

参加費：300円（資料代）

案内：全国地理教育学会 巡検委員会
委員長：横山 満 副委員長：中牧 崇 他委員：7名

巡検の視点：

- (1) 河岸段丘の景観を観察し、その特徴・形成要因を理解する。
 - ① 上野原地域の位置的条件
 - ② 地形図の読図
 - ③ 河岸段丘の形状及び形成要因
 - ④ 河川沿い低地、段丘崖、段丘面の地形
- (2) 段丘地形と歴史・交通の関係を考察する。
 - ① 甲州街道の成立とその役割
 - ② 上野原宿の成立とその立地条件
 - ③ 鉄道交通の発達とその変遷
 - ④ 高速道路の整備
- (3) 段丘地形と水との関連性及び土地利用の変化を考察する。
 - ① 湧水による水の確保
 - ② 上野原用水による水の確保
 - ③ 河川水との関係
 - ④ 水田開発の歩み
 - ⑤ 住宅地化の進展
 - ⑥ 地形図に見る土地利用の変化
- (4) 河岸段丘と新たな地域開発の現状を考察する。
 - ① 新たな移入人口と住宅地の開発
 - ② 新たな地域開発とその課題

巡検コース概要：

JR上野原駅 ⇒ 桂川橋 ⇒ 鶴島地区 ⇒ 桂川橋 ⇒ 段丘崖 ⇒ 段丘面 ⇒ 牛倉神社 ⇒ 上野原用水暗渠（塚場用水路） ⇒ 甲州街道・上野原宿（街路・旧本陣跡・旧脇本陣跡） ⇒ 富士見ヶ池 ⇒ 月見ヶ池 ⇒ 上野原浄水場 ⇒ 上の原の大ケヤキ ⇒ 湧水水道口 ⇒ 甲州街道・上野原宿 ⇒ 市役所前交差点 ⇒ 上野原用水暗渠（本町用水路） ⇒ 住宅地 ⇒ 段丘崖 ⇒ JR上野原駅

(コースについては、今後現地との交渉等によって変更する場合があります。)

*地理教育基礎巡検終了後、反省会を兼ねた懇親会を予定しています。参加を申し込まれる方は、2015年9月27日(日)までに、巡検委員会のメールアドレス(e-mail:junken@jageoedu.jp)に(1)巡検のみ参加、(2)巡検・懇親会とも参加、を忘れずにご連絡ください。また、地理教育基礎巡検に関するお問い合わせは、上記のメールアドレスをご利用ください。会員・非会員、地理プロパー・非地理プロパーを問わず、ご参加をお待ちしております。